

議会だより



一般質問 コロナ対策など現状と課題を質す..... 5

あの質問どうなった..... 10

町内視察報告..... 12

新しい町づくりへ 私の提案..... 15

尻もちついても笑顔いっぱい
(三水小5年 田植え作業)
関連記事16p

発行/長野県飯網町議会 編集/議会報編集調査特別委員会 発行責任者/大川 憲明
〒389-1293 長野県上水内郡飯網町牟礼2795-1 TEL026-253-2511

令和2年6月30日現在 人口10,923人(98.7%) / 男5,365人(98.3%)・女5,558人(99.0%)
世帯4,212(100.2%) ※うち外国人世帯30(103.4%) ()内は前年比率

新型コロナウイルス感染症対策 町民の生活を守るため

臨時会と合わせ 13億3775万円の補正

6月議会は、新型コロナウイルス感染症対策を行う中で、1日から17日までの17日間の日程で開かれました。

提出された議案は、条例改正4件、補正予算4件、その他3件の計11件を原案どおり可決し、請願1件、陳情2件を採択しました。

定例会に先立ち、5月14日に臨時会を開き、国、県の新型コロナウイルス感染症対策への対応を含む補正予算等を審議し、原案どおり可決しました。

また、7月10日第3回臨時会を開き、新型コロナウイルス対策の追加予算などを審議し、原案どおり可決しました。

補正予算

第2回臨時会

令和2年度一般会計(第1号) 可決

既定予算に11億2312万円を増額し、総額を96億2312万円とするもの。
全額が新型コロナウイルス感染症対策に関わるもの。
(3ページの表を参照)

6月定例会

令和2年度一般会計(第2号) 可決

既定予算に9285万円を増額し、総額を97億1597万円とするもの。
新型コロナウイルス感染症対策が大半。

(3ページの表を参照
グリーン網掛け)

主な歳出

飯綱病院施設費

6600万円

健診事業ストップなどによる収入減のため。

東高原ゾーン整備事業

1060万円

指定管理者に休業補償と支援金を支給。

小学校建設費

△2702万円

三水小学校のランチルーム空調設備整備事業が、国の令和元年度補正予算で採択されたため。

災害復旧費

349万円

台風19号被害に対するもの。



▲感染予防へ 風除室で検温、問診後 診察へ

補正予算への質疑

創業一年以内の 事業者へも支援

質疑 商工振興費で、国の持続化給付金は、前年同月比だが、同様な。

回答 同様だが、創業1年以内に事業を開始した事業者は、事業計画等から算出して扱うことも方法だと考える。

東高原整備事業詳細は

質疑 東高原ゾーン整備事業の1060万円の詳細は。

回答 県の条例改正で、公衆浴場におけるレジオネラ菌発生防止に関する規定が整備された。既存の施設は対象外だったが、天狗の館の営業者が変わったため対象となり、改修が必要となった。4月1日から1ヶ月間の休業補償的費用(最低限の管理固定費)として830万円。

昨年から指定管理者であれば対象となり、受給できなかったはずの国の持続化給付金200万円と長野県の感染拡大防止給付金の30万円を支援する。

新型コロナウイルス感染症対策での支援策

(住民への支援)

		予算額
国	特別定額給付金 (一人につき 10万円を支給)	10億9330万円
国	子育て世帯臨時特別給付金 (児童手当受給者へ対象児童 1人 1万円)	1117万円
町	ひとり親家庭生活支援金 (対象児童を養育する世帯につき 2万円)	180万円

(事業者支援)

		予算額
県・町	新型コロナウイルス感染症拡大防止給付金 (30万円を支給 内訳 県20万円、町10万円)	400万円
町	福祉介護事業所感染防止対策支援金 (1法人に対して10万円)	60万円
町	事業者等支援給付金 (国の支援金の対象とならない事業者で、売上げが前年同月で20%以上減となった事業者法人20万円、個人10万円)	1650万円
町	利子補給 (新型コロナウイルス感染症のために借り入れをした事業者へ返済終了まで2.1%を補給)	315万円
町	感染症予防ヘタクシー事業者支援	60万円
町	感染症対策で店舗改修支援 (1店舗30万円) 上限2/3	600万円
町	飲食店等応援チケット発行事業 (事業者が販売で5000円の内2000円分を支援) 宿泊券配布事業	4800万円

懸案の子育て支援センター建設へ

工事名
飯綱町子育て支援施設新設
工事

工事内容

町民会館東側チビッコ芝広場内に、子育て支援センターとワークセンターの各機能を統合した新たな施設を建設するもの。

木造2階建て 延床面積
499・70㎡
契約全額
1億7237万円

契約の相手方

千広建設株式会社

第3回臨時議会

令和2年度一般会計補正
予算(第3号) | 可決

既定予算に1億2743万円を増額し総額を98億4340万円とした。全額が新型コロナウイルス感染症対策に関わるもの。
(3ページ表参照網かけ)

主な歳出

アイバス車両購入

2500万円

保育園、児童クラブへ非
接触型体温計、空気清浄
機等

197万円

小中学校タブレット購入
費、通信環境整備等

4586万円

二本松加工所建設へ

工事名

三本松農産物加工施設建
設工事

工事内容

木造平屋建て(建築面積
164・10㎡ 延床面積

158・90㎡)、電気工事、
機械設備工事、外構工事
契約金額

9218万円

契約の相手方

高木建設株式会社

賛成討論―樋口功

契約の相手方及び契約
価格の妥当性等について
町の説明上、否とする理
由は見当たらない。新設
を待ち望んでいる農家の
ためにも契約締結に賛成。

請願・陳情

免税軽油制度の継続を求
める請願書 | 採択

道路の使用に直接関連し
ない機械等に使用される軽
油の免税制度が、令和3年
3月末で廃止される予定。
廃止されると、スキー場
の経営が一層大変になるた
め、継続を求めている。

「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情
—採択

労働者の生活を支えるため、最低賃金を全国一律とすること、1500円以上を目指すこと及び引き上げを円滑に行うため、中小企業や農業への支援策の拡充を求めている。

反対討論—原田幸長

県ごとに最低賃金審議会で決定してきた。県の実情を無視し全国一律制度を要求。全国一律に1500円実施は現実的でなく不適切。

賛成討論—渡邊千賀雄

雇用・労働政策で「働き方改革の推進」に加え、中小企業に最低賃金引き上げの支援策、経済対策を政府に求めている陳情。以前にも採択している。

反対討論—風間行男

新型コロナウイルスで大きな影響が出る中、全国一律時給1500円は中小企業の存続を脅かし、農業も雇えない金額だ。支援拡大が最優先。

賛成討論—伊藤まゆみ

最低賃金の改善による同一労働同一賃金の実現と中小企業などへの国の支援による実現を求めている。願意は理解できる。

反対討論—樋口功

全国同一賃金は物価など地域格差があり、非現実的。1500円の賃金は特効薬的支援策がない限り、支払負担が大きくなり、非現実的で実現性がない。

委員会でも不採択も

本会議では採択

後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める意見書提出の陳情—採択

全世代型社会保障検討会

議は、75歳以上の医療負担を、負担能力に応じたもの

への改革と2022年度までに実施できるよう法制上の措置を求めている。

陳情では、窓口負担の引き上げは、高齢者の生活及び受診の抑制に大きな影響を及ぼすため、現状維持を求めている。

賛成討論—荒川詔夫

後期高齢者は年金生活者が大宗を占め、病気等の高リスクや医療費負担高額は痛手である。扶助社会機構を切望し現状維持に賛成。

反対討論—青山弘

高齢者医療に要した費用を、どう公平に分担するか支えあうかを考える必要あり、一定所得以上の方の応分の負担は必要と考える。

賛成討論—清水満

今後とも現行の社会保障方式による「国民皆保険制度」を堅持し、国民の安全・安心な暮らしを保障していくことが重要である。

反対討論—樋口功

中間報告は支える人を増やす方策のほか、窓口負担の「応能負担」を明確にしたが、75歳以上の者が全員負担増になるものではない。

賛成討論—渡邊千賀雄

政治に求められるのは、現役世代を含めた福祉の維持、増進を図ることだ。年金生活高齢者の受診抑制を引き起こすような負担増は避けるべきだ。

反対討論—目須田修

日本の保険制度を維持するため、税は応能負担が原則であり理想。人口減少の中、現役世代及び未来を託す世代への負担を増やしてはいけない。

賛成討論—伊藤まゆみ

応能負担として保険料納付時に責任は果たしている。地方議会は、憲法25条の精神の実現を求めていることが大事である。

令和2年 6月定例会 議案に対する各議員の賛否結果 (○賛成 ●反対)

議案名	表決結果	清水	風間行男	中島和子	目須田修	瀧野良枝	原田幸長	石川信雄	荒川詔夫	伊藤まゆみ	清水満	樋口功	渡邊千賀雄	原田重美	青山弘	大川憲明
「最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	採択	○	●	○	○	○	●	○	○	○	●	●	○	○	●	—
後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める意見書提出の陳情	採択	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	●	○	○	●	—

採択された請願、陳情については、関係機関に意見書を提出しました。
※紙面の関係上、全員賛成の議案は、ホームページをご覧ください。

新型コロナウイルス・人口増対策など 現状と課題を質す

樋口 功議員

- 1 人口増対策をどのように進めるか

目須田 修議員

- 1 人口政策は「町の魅力は何か」の再考を

渡邊 千賀雄議員

- 1 新型コロナウイルス対策は
- 2 町の人口減少傾向から人口維持・増に向けては
- 3 町内に「公園」を設置し「観光」と「憩いの場」として取り組むことは

伊藤 まゆみ議員

- 1 子どもたちの学ぶ権利の保障を
- 2 学びたい18歳以上の学生に支援を
- 3 教師の働く環境整備を

一般質問

- 一般質問は、議員が町の行政全般にわたり、執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求めるものです。
- 一般質問の詳細については、ホームページ、議事録でご覧になれます。
- 一般質問の原稿は各議員が責任をもって編集しています。



傍聴席



佐野 道郎さん
(商工会事務局長)

新型コロナウイルス感染症が蔓延し、町内の事業所も大きな影響を被っており、今まで経験したことのない経済状況となってきました。

町の臨時議会が5月14日に開催され、また6月定例議会が6月3日に開催されたので、どんな議論が行われるのか関心がありましたので、傍聴させていだきました。あまり普段から議会傍聴をしませんでしたので、大変良い経験をさせていだきました。全議員出席の議場で拝聴しましたが、活発な質問と説明が行われており、良かったと思います。

6月の定例議会は新型コロナウイルス対策で議

新型コロナ対策での議会傍聴

議員の間にアクリル板が設置され、傍聴も福祉センターでのモニターによるものに対応されています。モニターによる傍聴は音声の状況が悪く、急遽本会議場へ移動となり、事務局の方の臨機応変な対応に感謝します。

2日間の傍聴を経て多少感じるのは、説明のなかで「資料何番に記載してある」という言葉が出てくるのですが、傍聴者は資料を持っていないわけではないので話がよくわからないことがあります。

平日の議会ですので傍聴が難しい町民も多いと思いますが、ぜひ一度は傍聴してみたいかごでしょうか。

人口増対策をどのように進めるか

町長 各課協力の下政治生命を懸けてやる

人口増推進室を設置した背景と理由は

樋口 企画課内に「人口増推進室」を設置したが、その背景と理由は。

企画課長 人口動態をみると、ここ10年で13・5%の人口減となった。国や県レベルと比べて速い速度で人口減の状況。年平均で自然減（出生者数と死亡者数の差）が114人、社会減（転入者数と転出者数の差）が50人となっている。
町長 大きなプロジェクト



樋口 功議員

は、地域振興係、子育て未来室などを設置し、取り組み、成果があった。しかし、人口増対策は役場を挙げて横断的に取り組んだが、人口減少にブレーキがかからない。この重要事項について、「人口増推進室」を設けて、取り組むこととした。



▲移住希望者向けパンフレット

ホームページの「移住」の内容は適切か

樋口 様々な施策を各課が連携して取り組んだもの、移住者増につながる

いのは移住者が必要とする情報（住居、仕事など）をホームページに適切に掲載していないことも一因と思う。例として、現在、「移住」が「観光」と同じ項目となっているが、独立して掲載し、移住に関する情報を一元化すべきだ。さらに、住居の情報がない。空き家調査を行ったのか。不動産業者との連携はどうか。

企画課長 現在実施中の空き家調査の結果や民間不動産業者の情報、公営住宅の状況等を一元化し、PRしていく。

樋口 仕事について、求人数及び就職相談件数ほどのような状況か。

産業観光課長 現在の求人数は99件であり、元年度の就職相談件数は51件であった。

樋口 この情報を移住ペー

ジに掲載すべきだ。いろいろなコネクトEASTは大手企業のシステム開発拠点として利用されており、今後、20数人が働く予定と新聞に報道された。移住対策としてIT企業誘致をホームページ上で積極的に進めてはどうか。

町長 すでに担当課で企業に声掛けしているが、教室が立派な「事務所」に変わっている。素晴らしい環境の中、「旧三水第二小の2階はIT企業が使っているよ」となるよう全力を挙げたい。



▲旧三水第二小の教室がオフィスに変身

ホームページを再構築し、確認は「人口増推進室」で

樋口 様々な施策が各課連絡、協調の上、進めてきたと思う。その結果、移住希望者にも勧められる住みやすい町となった。材料（情報）は十分あるので各課が連絡・協調し、ホームページ上のリンク先も含めその情報を表現（掲載）するとともに、人口増推進室がその状況を確認することはどうか。

町長 同感である。指摘のあったことをネット利用も含め、積極的に動くことが大切であると痛切に感じている。
企画課長 移住ページに住宅や仕事など様々な情報を一元化するよう改善する。

人口増対策をどのように進めるか

樋口 今後、人口増対策をどのように進めていくか。

町長 提案内容も含め、各課協力の下、政治生命を懸けてやる。

人口政策は「町の魅力は何か」の再考が必要と思うが



目須田 修議員

町長 新しい施設を活かした新しい魅力の町づくりを

新型コロナウイルス対策は

目須田 飲食店などの個人事業主及びパート従業員の減収に対する支援策は。

町長 国・県以外の町独自での支援策は減収が50%に満たない事業主を対象に、法人は20万円、個人事業者には10万円の給付額を定め総額1650万円計上。

パート従業員については町独自での補てんは今のところ取組みはないが他の制度での対応を考えている。

農家については第2次補正予算で臨時交付金があれば有効に活用したい。

また、他の事業にも影響が大きく、第2弾第3弾の支援が必要と考えている。パート従業員は基本的に雇用主の責任と考えているが、ひとり親世帯への支援は既に予算措置をし、対応。具体的には1世帯あたり2万円で約90家庭。

目須田 「人づくり」とした教育運営方針、コロナ対応で現場の学習計画と学業の遅れのフォローは。

教育次長 町立小学校では

4月13日～5月23日まで臨時休業としたが今週、全員登校で授業を再開。

授業再開にあたり、国から基本的対処方針、衛生管理マニュアル、また文科省から学びの保障の方向性が示され、この「新しい生活様式」をふまえて学校生活を進めていくことになる。

学習活動については、授業日数の確保のみを優先するのではなく、児童・生徒同士及び教師との関わり合いを重視し、共同実習など学校でしかできない授業に重点を置く。

フォローについては。家庭での過ごし方によって差が生じていることも懸念。休業中の課題の点検、個々の理解度や定着度を把握し、個別指導・支援を実施。

新建築物は適正な

買い物だったか

目須田 若者住宅、いろいろなマルシェむーちゃんは、それぞれ費用に見合った施設が建設されているかを完成後チェックしているか。

建設水道課長 東黒川原田

地区の若者住宅について。国の制度を活用し、国の積算基準により算出した数字で面積・断熱材のグレード等は基準以上。

町内の指名競争入札であり、低価格で落札。

また補助率は精算時では50%。性能の良い建物で財源的にも有利な、費用に見合ったものと考えている。

産業観光課長 三本松地区のむーちゃんについて。6次産業化の柱事業として関係者と調整調査を重ね、限られた財源の中、適正な入札による業者での建設で費用に見合ったものと考えている。

新庁舎の空調など

エネルギーは

目須田 新庁舎は地中熱を利用したヒートポンプになっっているが、何故ソーラー発電によるエネルギー利用を採用しなかったのか。

産業観光課長 地中熱ヒートポンプは通年安定しており効率も良い。また、冬の融雪にも利用し、夏場は中に放熱、エコに優れている。費用の比較は、太陽光での空調の場合のみで検討。



▲空き家対策を兼ねたリフォーム&斡旋が優先と思うが。(東黒川原田地区の新築若者住宅)

新型
コロナウイルス

不安の解消と

町長 情報公開や町独自支援策で対応

営業・生活支援策は

渡邊 新型コロナウイルス感染症の拡大と、第2波の恐れなど、先行きが不透明なため、町民の間に不安が広がっており、生活への影響も出ている。人権や風評被害に配慮した情報公開が求められていると思うが。

として営業不振、売り上げ減等に対する事業者等への経済支援策は。産業観光課長 町内事業者向け町独自給付金事業等で対応したい。

渡邊 町としての生活者支援策は。保健福祉課長 社協と連携し、相談体制の強化を図る。**渡邊** 町税、国保税等、諸税(料)の減税、免税、猶予等は。また、相談にのるのか考えを伺う。

町長 政策・対策の上で情報収集することは大事だ。町民に必要と思われることは公開していく。

税務会計課長 条例改正の予定、広報等で周知する。

渡邊 町は「対策本部」を立ち上げ、各課でも、対応しているところだが、地域経済に影響が出ている。町

町の人口減少傾向から人口維持・増に向けては

渡邊 千賀雄議員



▲福祉センター屋外で行われた「定額給付金」の申請受付

渡邊 町長は、3月議会で「人口増対策」を徹底して進めると表明された。「人口増推進室」設置の考えと、人口増推進策の具体化策は。**企画課長** 人口が想定よりスピードが速く

減っている。対策は待ったなしだ。移住希望者対策、働く場の提供「(株)カンマッセいづな」(廃校管理・活用事業者)の活動などの推進。**渡邊** 「3世代同居促進事業」の具体化策はなにか。拡充していく考えは。**町長** 一つ屋根の下にこだわらない三世代同居も推奨したい。**渡邊** 「多子・長寿社会」の町を目指すことに、町民の知恵を借りて推進することはどうか。**町長** 区の役員等に、女性の登用も考えていくべきと思う。



▲公園化・予定現地での「栄町環境美化ボランティア部会」で取り組みの会議中

町内に「公園」を設置し「観光」と「憩いの場」として取り組むことは

渡邊 以前、旧三水役場跡地の公園化を提案した。町民の公園設置の要望・意見が強くある。土地の有効利用、活用からも考えていくべきだ。**「牟礼駅周辺整備計画」** によって駅周辺整備等が進められてきた。牟礼駅前傾斜地付近を「自然を生かした公園に」という地域からの要望・取り組みがあり、地権者等の協力態勢も進んでいる。実現化の考えは。**町長** 町内全体の構想をもって、検討して取り組んでいく。

オンライン授業へ 1人1台の端末を

町長 今年度中に共同調達で整備予定



伊藤 まゆみ議員

学ぶ権利の保障を

伊藤 新型コロナウイルス感染症抑止のため、4月11日から小中学校が休校となった。終息が見えない中「子どもたちの学ぶ権利をどう保障していくのか」の立場に立った今後の対応は、**教育次長** 子ども達の命を守ることを第一に、学習指導要領の学びの保障の方針により学校運営を行う。



▲タブレットを使った数学授業(飯綱中学校)

一般質問

伊藤 大きなストレスを抱えて過ごした子ども達や保護者へのケアをどうするか。**教育長** 学習の遅れに対する手立てとして課題を出したがるが、来校時や家庭訪問をして相談を受けた。メール相談窓口を設け、対応中。完全な通常授業にはまだ戻らないため、内容の組替えをしている。

1人1台の タブレットを

伊藤 オンライン授業が推奨されているが、環境が整っていない。早急な対応が求められるが。**教育次長** 今年度中に1人1台の端末の整備を予定。**長野県は、市町村で共同調達の予定なので参加したい。****伊藤** 町独自で18歳までの支援を。**町長** 教育委員会と話している。今後、第2、3段の支援が必要となれば積極的に考えたい。

18歳以上の 学生に支援を

伊藤 大学生の5人に一人が退学を考えているとの調査結果が報告されている。学びたい18歳以上の学生に町独自の支援を。

町長 農業をやる町の魅力の一つとして、子ども達に供給してあげる力を持っている。必要としているのであれば、町も気にしている形として積極的に考えたい。

教師の働く環境整備を

伊藤 2019年12月4日安倍内閣は、現場からの反対の声を押し切って公立学校の教員に「1年単位の変形労働時間制」を導入可能とする法案(改正教育職員給与特別措置法)を、強行成立させた。導入には都道府県が条例を改正し、市町村教育委員会が各学校の意



▲元気な歌声を早く聞きたい(2017年牟礼東小学校)

向を踏まえ、導入する学校や具体的な導入の仕方を選定するとされている。

導入すべきでないと考えるが、現場の声をどのように聞き取り、反映していくのか。

教育長 この制度は、教育現場の実情にそぐわないところがある。

校長会の話を聞いたが、導入の考えはない。

あの時の あの質問 どうなった??

【令和元年9月 一般質問】

Q 小学校、中学校における電子黒板、タブレットの普及を。

A 順次増設していくよう計画的に整備していく。



対応

国が推進する GIGA スクール構想（児童生徒 1 人 1 台コンピューター）による交付金を活用し、町内学校へ Wi-Fi が整備され、第 3 回臨時会で 1 人 1 台のタブレットが予算化された。



【令和元年9月 一般質問】

Q 牟礼駅発着の交通網の拡充を。

A 観光地への 2 次交通も含め、駅拠点の交通網の整備を検討していく。



対応

牟礼駅から拠点施設を結ぶ 2 次交通の充実により、観光客の増、民間事業者の活性化、北しなの線の振興を目指す。

令和 2 年度に、牟礼駅発着の地域間拠点バスの実証実験を実施予定。

※拠点施設／いいづなコネクト（旧三水第二小、旧牟礼西小）・いいづなリゾートスキー場・天狗の館・サンクゼール 等



あの質問どうなった

【平成31年3月 一般質問】

Q 骨髄バンクのドナーが骨髄提供をするには一定期間の入院が必要。助成制度を。

A 県にも制度があるが、他市町村の対応を参考に検討する。



対応 ドナーは、骨髄等を提供するために通院又は入院に要した日数、1日につき2万円を助成（上限10日間）。

勤務事業所は、ドナーが骨髄等を提供するために通院または入院に要した日数に休暇を付与した日数、1日につき1万円を助成（上限10日間）。



【令和元年12月 一般質問】

Q 台風・豪雨災害対策として河川整備の計画的実施を。

A 一級河川は県整備計画に基づいて改修。町管理の準用・普通河川も必要箇所から毎年改修を進めていく。



対応 鳥居川、斑尾川（写真）の一部の浚渫工事を実施。滝沢川（古町）、鳥居川（深沢）に監視カメラ、滝沢川、八蛇川に水位計を新たに設置。今後、国事業により緊急浚渫推進事業として浚渫、樹木伐採が5か年計画で実施されることから、県への要望と町の実施を検討する。



町内新事業施設～視察・研修報告

去る6月3日最近オープンした4施設を議会として視察、研修しました。

いいづなマルシェむーちゃん 三本松農産物直売所 飯綱町牟礼 1-1	
設置者	飯綱町 地方創生推進交付金事業（世界に誇る力強い産業形成事業）
指定管理者	「飯綱町ふるさと振興公社」（運営事業体） 問合せ先 Tel 253-3321 ・横手直売所四季菜 ・よこ亭 ・ピーチロードムーちゃん ・三水直売所さんちゃん ・食ごよみ日和 を経営統合
オープン	5月30日
施設内容	・農産物直売 ・加工品販売（みそ、ジュース、おやきなど） ・カフェコーナー（軽食、休憩スペース） ・モミ精米機設置により精米したてコメ販売 ・駐車場（現在）30台うち大型2台
目的・目標	3直売所の経営統合によるスケールメリットを生かして、サービスの向上、収益力の向上、地域連携強化などを図り、農家収益の拡大、農業後継者の育成・支援、農業振興の推進を図る。将来的には「道の駅」構想実現に向けて引き続き取り組んでいくとし、駐車台数の増加確保も重要課題。
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>◀直売所むーちゃん入口</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>◀店内カフェコーナー</p> </div> </div>	

いいづなコネクトEAST（イースト・東） 「しごとの創業・交流施設」旧三水第二小 飯綱町赤塩2489	
設置者	飯綱町 地方創生推進交付金事業（しごとの創業・交流拠点整備事業）
委託（運営会社）	「(株)カンマッセいいづな」（民間事業体） 問合せ先 Tel 262-1995
オープン	7月17日
施設内容	・コワーキングスペース ・チャレンジ室（子どもから大人までの工作、作業室） ・喫茶室 ・図書室 ・シールド醸造
目的・目標	2階で創業やものづくりを学び、1階で開業するといった位置付けで、人の流れやつながり（コネクト）が生み出されることによる、地域の活性化の基地を目指す。
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>◀入口の施設ロゴ看板</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>◀コンセプトワールドイメージの説明</p> </div> </div>	

視察・研修報告

いづなコネクトWEST (ウエスト・西) 「自然健康体験交流施設」 旧牟礼西小 飯綱町川上1535	
設置者	飯綱町 地方創生推進交付金事業（自然の中の暮らし魅力創造発信事業）
委託（運営会社）	「株式会社カンマッセいづな」（民間事業体） 問合せ先 Tel 217-0016
オープン	5月12日 一部オープン
施設内容	・コインランドリー ・食堂（コーヒー、ラーメン、飲食） ・集会室 ・サッカーグラウンド（少年用8人制コートサイズ） ・トレーニングルーム ・シャワー室 ・宿泊施設
目的・目標	「自然体験、スポーツ体験」など「地域の魅力体験の拠点」として位置付け、都市部との人的つながり（コネクト）を促すことで、町の魅力発信の基地を目指す。
 いづなバルセイロフィールド （飯綱町サッカー場）  とちのき食堂	

メーラプラザ（りんご広場・イタリア語） 「飯綱町多世代交流施設」 飯綱町普光寺深沢920	
設置者	飯綱町 地方創生推進交付金事業（生涯活躍のまち推進事業・いきがい創造プロジェクト事業）
指定管理者	飯綱町社会福祉協議会 問合せ先 Tel 217-0345
オープン	3月14日
施設内容	・多目的交流機能（ホール、交流室、キッチンルーム、プレイルーム他） ・福祉機能（多目的室、地域活動支援センター、相談室） ・健康増進機能（パワーリハビリ室） ・産業観光機能（貸店舗、カフェコーナー） ・管理事務室（社協地域福祉課・ボランティアセンター） ・駐車場 30台
目的・目標	多目的交流機能をメインに健康増進機能、福祉機能、産業観光機能を持つこの施設は、旧三水公民館跡地に建設された。地域内外の人々が気軽に立ち寄れる「町の新たなコミュニティスポット」としてまちなかの賑わいを生み出す施設として、多くの世代の人に様々な用途での使用を目指す。



議会だより第58号 (3月定例会)

モニターアンケートにお答えします

私の提案はどう生かされているの

Q これまで18回にわたり掲載された「新しい町づくりへ私の提案」ですが、どのように生かされていますか。また、実際に採用された事例はありますか。

A 様々なご提案ありがとうございます。議会報編集委員会や全員協議会で協議をしたり、時には一般質問へとつなげ、議会報で「あの時の質問どうなった」でもお答えしています。モニターからの意見のひとつとしては議会傍聴をお願いするポスター掲示案があり、傍聴者が増え成果を得ています。

議員相談窓口を

Q 町の顔、町民の代表である議員に、何か相談したいときはどうすれば良いですか。窓口のような仕組みがあったらありがたいですが。

A 特に窓口としては設けていませんが、ホームページに公表した電話番号にいつでもお声がけをお待ちしています。直接連絡しにくい場合は、議会事務局にご連絡下さい。今後も町民懇談会の場を多く設定する予定です。ぜひ、出前講座や懇談会希望をお寄せ下さい。

滝沢敏也	高野倫子	高野今朝雄	庄村道男	清水憲和	渋谷勝基	近藤正	小柳真智子	小林辰雄	小林達也	黒柳美和子	黒岩礼子	陸斎	大日方貢	沖弘宣	大澤君雄	大澤江実子	大川美由紀	上野千野子	伊藤和男	井澤美咲	井澤美加	渥美香
町原三	原三	袖之山	扇平	栄町	谷	西黒川	普光寺西部	四ツ屋	地藏久保	小玉	御所之入	普光寺東部	福井団地	川北西部	坂上	中村	上赤塩	古町	西黒川	野村上	野村上	福井団地
	若林安美	依田剛	吉澤裕昭	森良子	森由美子	村田政敬	村上元伸	村上清文	丸山浩美	町田正憲	馬島三男	藤沢睦志	福田恵美	廣田裕二	広瀬晃一	平山久	原山諒明	原田住男	仲俣幸江	外谷裕治郎	帯刀静香	
(50音順・敬称略)	深沢	東高原	夏川	町	牟礼	東高原	栄町	田中	普光寺中部	袖之山	普光寺東部	下赤塩	東柏原	横手	番匠	牟礼	寺村	平出	西黒川	奈良本	普光寺中部	

新たに議会だよりモニター44名
 第7次の議会だよりモニターが決定しました。
 任期は2020年8月～2022年7月までです。
 モニターの皆さんから頂いたご意見は、議会だより
 でお答えするほか、議会での政策提言につなげてまい
 ります。

モニターアンケート

新しい町づくりへ 私の提案

第19回

古き良き時代と新しさ



相澤 香織さん
(高坂)

人間の脳は、常に新しさを求めているそうです。そして、その新しさは私たち人間の生存を支えてきました。すべての新しさは見る人次第で、創造力を働かせれば「古いものはほぼすべて新しい命の可能性を秘めている！」と私は思います。

飯綱町は自然に恵まれ農業が盛んな活力のある町です。今、ここにある「農ある暮らし」から先人の知恵や昔の事を調べ、そこから新しい知識や道理を見つけ出していくと面白さや可能性が広がると思います。

ということ、新しい町づくりには、農業と自然は欠かせないのではないかと私は思います。

自然エネルギーをまちづくりに



瀬尾 誠さん
(夏川)

飯綱町の豊かな資源を活用してみませんか。

地球温暖化は、気温が1度上がると大気中の水蒸気が7%増え、毎時80ミリ以上の雨が倍増して大災害をもたらすなど、私たちの日常生活の不安は、他人事ではなくなっています。

国内資源の乏しさを理由に、輸入に依存する産業や消費構造に作り変えられたので、身近なところから何ができるかを考えることすら、難しい状況でした。

化石エネルギーや原発を使わないで、町の身近な太陽熱、太陽光、風力、水力、地熱、生物ゆかりの自然エネルギーを、公共施設だけでなく、事業所や農家、家庭でも活用して、町づくりの資源を作り出し、新しい町づくりを進めていきたいと思います。

これからもこの町で気楽に元気に!!



原田 愛さん
(平出)

飯綱町で暮らし始めて15年以上、祖父母や地域の方々を支えられ子ども達3人は健やかに育っています。

この暮らしの中で欠かせないのは車です。どこに行くのも車で移動しています。高齢になった時、車の運転は大変になってきます。そこで、町内のバスを利用して、食料品や生活必需品がまとめて購入できるお店があれば便利だと考えます。

また、遊具やアスレチック、遊歩道が整備された公園があれば、交流の場として子どもも大人も安心して過ごせると考えます。

これからおじいちゃん、おばあちゃんになっても、この町でできる限りは自分たちで気楽に元気に暮らしていけるように。

政策サポーター募集

議会との協働でまちづくり政策を作ろう

第5次政策サポーターを左記のテーマで募集します。多くの皆様のご応募をお待ちしております。

政策提言テーマ①

「飯綱町の輝く人口増対策について」(総務産業常任委員会)

空き家、空き店舗を活用した人口増対策、若者が定住できるよう、県外へ進学した若者もぜひ戻ってきたいと思えるような町づくりを行い、人口減少にブレーキをかけられる提言へつなげたい。

政策提言テーマ②

「子どもたちの未来は飯綱町の未来」(福祉文教常任委員会)

小学校が統合され2校となり、「こども子育て未来室」が創設されて5年目。飯綱町だからこそできる教育、子育て等の環境整備、安心安全な生活も提言へつなげたい。



▲第4次政策サポーター会議

- ・募集人数 若干名
- ・応募締切 8月17日(月)
- ・報酬をお支払いします
- ・採用は議会にて決定致します

59号表紙説明

長い休校期間が明けた5月29日、三水小、牟礼小の田植え作業で子どもたちの元気な笑顔が見られました。だんごりの会はじめ地域の皆さんのご協力で楽しい思い出ができました。



議会だよりモニター

生の声

20

飯綱町に住んで



富山 玲子さん
(福井団地)

飯綱町に移住して早いもので30数年が経ちました。自然豊かな場所で子ども達を育てるのに良いのではないかと。春には桃やりんごの花が咲き、田んぼには水が入り、苗が植えられ稲が育つのをみる事ができ、

産直では採りたての野菜、果物が並び、季節の移り変わりを目で見て体で感じる事ができました。その裏では農家さんの大変な苦勞があるのだらうと思いつつ、にしていけないなあ。モニターになり議会だよりを目を通すようになり、皆さんが町が発展するように頑張っていることがわかります。

これからも大変なことはたくさんありますが、住みよい町、住んでみたい町になるように、この景色がいままで変わらぬように、これからもよろしくお願ひします。

9月定例会予定

9月1日～24日(24日間)
一般質問
4日(金)・7日(月)
常任委員会
8日(火)・9日(水)

編集後記

新型コロナウイルスの影響で生活の自粛が続いてきたが、東京アラート解除、県外往来自粛の解除、1000人未満のイベント開催等、経済活動も行われるようになった。もちろん感染予防を徹底しての話だが、各自の責任ある行動が求められている。新しい生活様式の実践を。(幸)

編集委員

憲明	大川	人長	行員	発委
信雄	石川	長員	員	副委
幸長	原田	員	員	委
和子	中島	員	員	委
枝良	瀧野	員	員	委
まゆみ	伊藤	員	員	委
千賀雄	渡邊	員	員	委